

## 【第三号議案】

### 第 62 年度事業計画書（案）

#### <基本方針>

2026 年の日本経済は、前年から続くトランプ政権の関税政策による不透明感に加え、緊迫化するホルムズ海峡情勢がエネルギーコストの再高騰を招き、一段と予断を許さない局面を迎えている。

地政学リスクの直撃を受け、日本銀行は 2026 年度の実質 GDP 成長率を+0.7%～+1.0%、消費者物価指数（コア CPI）を 2%前後と予測している。日銀は「賃金と物価の好循環」の定着を前提に、政策金利を 1.0%程度まで段階的に引き上げる構えを見せているが、エネルギー価格の急騰が家計の購買力を削ぐ「スタグフレーション」への警戒感も根強い。政府は引き続き、戦略分野への投資促進と並行して、高騰するエネルギー価格に対する緊急対策を迫られる 1 年となる。

実質賃金は緩やかな上昇基調にあるとされるが、全労働人口の 7 割を占める中小企業にとっては、利上げによる支払利息の増加と、エネルギー価格転嫁の遅れが二重の重石となっている。また、「2025 年問題」を経て社会構造が一段と高齢化へシフトするなか、現役世代の負担増と深刻な労働力不足は、もはや一時的な課題ではなく構造的な制約として定着している。

中小印刷業界では、ホルムズ海峡問題に端を発するナフサの不通、価格上昇を受け、資機材・物流コストの再高騰が懸念されている。人件費をはじめあらゆるコストが上昇するなか、取引適正化に向けた動きを活発化させているが、公正取引委員会の調査が示す通り、価格転嫁の機運は高まっているものの、人件費やエネルギー増分までを含めた全てのコスト上昇分の転嫁を実現できている企業は依然として限定的である。これに加え、熟練オペレーターの大量退職に伴う技術承継の断絶が深刻化しており、2026 年度は従来の労働集約型モデルからの脱却を目指す「省力化投資」と「高付加価値化」への決断が、企業の存続を左右する極めて重要な年となる。

こうした状況の中、ジャグラーは役員改選による新体制をスタートさせ、“価値競創を実践し 選ばれるグラフィックサービス業を築こう！”をスローガンに事業を展開していく。

具体的な取り組みとしては、会員拡大を全ての軸に据え、地協、支部活動を支援するためのコンテンツ提供、会員企業の収益改善に資する最新技術トレンドの研究から既存の印刷の付加価値向上を図るための委員会活動を展開する。また、価格競争から価値競創への歩みを進めるべく、継続的な DX ツールの活用、各種コンテストによる人財育成を支援していく。

## 【個別事業】

### [1]正副会長会議

#### 1. 正副会長会議

- ・ 総務全般
- ・ 財政全般
- ・ 委員会総括
- ・ 会館運営
- ・ 災害時・非常時の対応
- ・ その他

### [2]組織強化事業

#### 1. 会員拡大委員会

- ・ 各地協の目標設定と進捗管理を行い、会員拡大活動を継続的に支援する
- ・ 勧誘ツールやノウハウを整備し、具体的な会員獲得方法を各地域に提供する
- ・ 地域活動と連携し、現場支援や交流機会の創出を通じて入会のきっかけを増やす
- ・ 展示会・対外イベント等を活用し、ジャグラの魅力を外部へ発信して参加を促進する
- ・ 地域で生まれた成功事例を全国に共有し、再現可能な取り組みとして広げる

#### 2. SPACE-21

- ・ SPACE-21 のバックボーンとなる活動・体制の確立を目指す
- ・ 全国各地域青年部の活性化に注力

#### 3. マスターズクラブ

- ・ ジャグラ役員経験者を中心として構成する
- ・ ジャグラ活動を補佐、支援する

### [3]地域支援事業

#### 1. 教育研修支援委員会

- ・ 教育コンテンツの開発
- ・ セミナーパッケージの整備・提供
- ・ 年間開催支援および重点地域支援
- ・ 非会員参加を通じた入会導線の構築
- ・ 開催初年度における委員会メンバーの現地立会い支援

#### 2. DX ツールマーケティング委員会

- ・ DX ツールの販促企画および実行
- ・ 販売手法、マーケティング施策の検証
- ・ 成功事例および実践ノウハウの収集・共有
- ・ 会員企業が導入しやすい提案手法、販売モデルの整備
- ・ 地域支援事業としての横展開支援

#### 3. DTP 講座オンライン化準備委員会

- ・ リアル開催していた講座のオンライン化を検討
- ・ オンラインで可能な新たな講座の企画検討

#### [4]技術戦略事業

##### 1.印刷技術委員会

- ・ オフセット印刷を活かしたビジネスモデル研究
- ・ 印刷技術と経営管理の接続
- ・ 「紙」という素材への再注目
- ・ 技術情報の共有

##### 2.業態進化委員会

- ・ マーケティングオートメーション（MA）やドローン撮影、Web校正などの最新ツールの研究、調査
- ・ 会員向けデジタルツール、ビジネスパッケージの開発、提供

#### [5]広報事業

##### 1.広報委員会

- ・ 渉外活動全般（ジャグラーホームページの運営、ニュースリリースの発行など）
- ・ 渉内活動全般（機関誌の企画・編集・発行、メールマガジンなど）
- ・ ジャグラーBB運営（ジャグラーBBの企画・運営、教育研修など）
- ・ ジャグラーアプリ運用

#### [6]コンテスト事業

##### 1.DTPスキルコンテスト委員会

- ・ ジャグラーコンテスト・ジャグラーテスト運営全般
- ・ ジャグラーコンテスト・ジャグラーテスト運営のための専門委員会議
- ・ DTPオペレーターの継承すべき高度な技能向上を図る

##### 2.作品展委員会

- ・ ジャグラー作品展の内容を検討
- ・ ジャグラー作品展の審査運営
- ・ 作品展を通じて企画提案、デザイン力向上を図る
- ・ 「印刷屋さんのお仕事展」の企画運営

#### [7]個人情報保護事業

##### 1.個人情報保護委員会

- ・ 個人情報保護の推進
- ・ プライバシーマークの普及

#### [8]その他

##### 1.日本自費出版文化賞

- ・ 日本自費出版文化賞を主催する
- ・ 同賞の運営を自費出版ネットワークに委託する

##### 2.プライバシーマーク審査会

- ・ プライバシーマークの審査機関として活動する